



1年学年だより

発行日：令和 7 年 11 月 28 日(金)

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

学校長：二上 直子 NO. 7

生徒会役員選挙が行われました！

11 月 18 日(火)に新生徒会本部役員を選出する立会演説会が行われました。Google Meet を活用して演説会が実施されましたが、画面を通してでも全校生徒に話をするのは、とても勇気のいることです。候補者たちにとって、それぞれの想いを熱く、そして丁寧に伝える素晴らしい場となりました。その言葉を聞く生徒たちの眼差しも真剣そのもの。投票の結果、次期生徒会本部役員が以下の通り決定しました。

【13期 新生徒会役員】

生徒会長	2 年 4 組	■■■■	さん
役 員	2 年 2 組	■■■■	さん
	2 年 2 組	■■■■	さん
	2 年 4 組	■■■■	さん
	1 年 2 組	■■■■	さん
	1 年 4 組	■■■■	さん



13 期生徒会本部役員の皆さん

今年度、生徒会本部は「Renew a Link」という生徒会目標を掲げ、活動しています。附属中開校から使用されていた「クラスポスト」を変更したり、持ち物やルールの在り方をもう一度考え直すなどしたりして、学校を「Renewal」できることはないかとさまざまな視点を持ちながら話し合い、実践しているところです。また、生徒会目標の達成に向け生徒会各種委員会にも投げかけるなど、それぞれの委員会が主体的に考えてもらえるような取組も行いました。そうした活動や全校企画等を通して、学校が「Link」し、つながりの強い学校を目指していきます。今後、12 月から 3 月までの 4 カ月は、現役員と新役員がともに活動することで、生徒会活動の引継ぎとパワーアップを目指していきます。

本部役員が附属中生の代表として活動していきますが、附属中学校を作っていくのは全校生徒のみなさんです。これまで、附属中の先輩方が積み重ねてきた伝統を引き継ぎつつ、より良い学校にしていくために、一人ひとりが学校生活について、考えていくことが必要とされてきます。さまざまな生徒会活動(各種委員会活動や、クラスの係活動、学校行事など)の一つひとつがみなさんにとっての成長のチャンスです。創意工夫のある生徒会活動を通し、附属中生が心身ともにより大きく、たくましく成長することを願っています。

(中学生徒会部担当)

新旧生徒会本部役員（バトンを繋いでいる途中です）



人権作文コンテストで1年生が表彰されました！



11月23日(日)横浜市社会福祉センターでの表彰式の様子。■■■さん、ぜひ年末の学年集会の時に学年みんなの前で作文を披露してくださいね！

1年生から3年生まで附属中生の全員が、夏休み前の道徳の授業で「人権作文」を書きましたが、1年1組の■■■さんの作文が、見事に「令和7年度全国中学生人権作文コンテスト横浜市大会」において『最優秀賞』に選ばれました。自分自身のことを振り返って書いた作文は、■■■さんの人柄があふれる、とても素晴らしい作文でした。■■■さんと保護者様の了解を得て、受賞した作文を掲載しますので、ぜひご一読ください。■■■さん、本当におめでとうございます。

ちなみに、この作文は「人権作文コンテスト神奈川県大会」においても『優秀賞』に選ばれました（後日、また表彰があります）。併せておめでとうございます。

「笑顔のバトンをつないでいく」

横浜市立南高等学校附属中学校 1年 ■■■

私は小学校の頃に通級指導教室という教室に通っていました。通級とは、普段は在籍校で学校生活を送っている児童が、週一回から月一回程度、自分にあったコミュニケーションの方法を一人ひとりの状態に応じて、先生と一対一で指導を受ける場のことです。具体的には、きこえの教室、ことばの教室、まなびの支援教室があります。私は、きこえとことばの障害のためコミュニケーションに課題のある児童が通う、きこえとことばの教室に通っていました。

私が小学一年生のころ、担任の先生から「発音が気になる」と指摘され、専門の先生に相談することを勧められました。そして、二年生から通級に通い始めました。「イ」や「シ」、「チ」などのイ列の発音がうまく言えなかったので、先生が言い方のコツや舌の動かし方などを教えてくれました。通級での発音の練習だけではなく、家でも毎日の宿題として繰り返し発音したり、舌の筋トレを続けたりすることで、少しずつ正しい発音ができるようになりました。また、卒業後も引き続き自分で訓練を続けられるように、発音した時の感覚を言葉にして、どうしたらもっと上手になれるかを先生と一緒に考えました。

通級はずっと座って発音練習というわけではありません。カードゲームや運動を先生と一緒にすることがあります。このように遊びながらコミュニケーションをとることや、実際の会話の中で、学んだ発音を使うことを経験させてくれました。そうすることで学校生活や社会に出てからも、自分らしく、安心して自分の個性を発揮していけるように指導してくださいました。

このように、二年生から六年生までの五年間で、様々な活動をしてきました。その中でも一番思い出に残っているのは、卒業時に行われたお別れ会です。お別れ会では、通級を卒業する児童とその保護者の前で、自分の得意なことを発表します。私は通級での思い出を作文に書き、フリップを得意な書道で作り、スピーチをしました。なぜ、スピーチを選んだのかというと、この五年間で話すことに自信がついたからです。もしも通級を知らなかったら、通っていなかったら、こんなにも人前で話すことに自信が持てなかったと思います。話すことが嫌いになったり、誤った発音が原因で言葉を正しく書くことができなかつたりして勉強についていけなかったかもしれません。しかし、通級に通ったことで、自分のことを認めてくれる優しい先生に出会うことができました。そして、だめな自分を直すではなく、より良い自分になるために努力する大切さを学ぶことができました。

通級に通い、他のみんなとは違うことが恥ずかしいと思っていたこともありましたが、最後にはきちんと自分を認めることができました。きっと、先生や家族が私の気持ちを考えながら接してくれたからだと思います。

私はこのようなサポートをしてくれる環境があることを、より多くの子どもやその保護者に伝えていきたいです。どんなに小さなことでもいいから相談してみれば、変わる何かがきっと見つかると思います。

だから、私は自分の体験を伝えたり、相談したりすることは恥ずかしいことではないと知ってほしいです。そうすることで、みんなが相談しやすい社会を作り、笑顔のバトンがずっとずっとつながっていくと信じています。



■さんを囲んで1組の仲間たちと記念撮影！

ビブリオバトル！大いに盛り上がりました！

11月の第1週目の昼休みに図書委員会主催の『ビブリオバトル』が行われました。『ビブリオバトル』とは、発表者がそれぞれ自分のおすすめの本を持ち寄り、5分間でその本の魅力をプレゼンし、その後に参加者全員で質疑応答を行い、最終的に「もっとも読みたくなった本」に投票し、「チャンプ本」を決める書評ゲームです。

中学1年生からは予選バトルを勝ち抜いた1年2組■さんと、1年3組■さんの2人が立派にプレゼンをしてくれました。身振り手振りを入れたり、聴いている人にクイズを投げかけたりと、普段は静かな図書館が、その時間だけは大いに盛り上がりました。

2人の紹介してくれた本は次の2冊です。興味を持った人はぜひ冬休みに読んでみましょう！そして…来週のテストが終わったら本を読みに図書館に行きましょう！



掲載でしたが、■さんが見事勝利しました！

1-2 ■さんのおすすめ本 「ぼくのメジャースプーン」辻村 深月【著】

1-3 ■さんのおすすめ本 「眠れなくなるほど面白い 図解 起業の話」林 尚弘【著】

学校でのあいさつを活発にしていくために・・・！



生活保健委員会の皆さんが、10月と11月の2回（それぞれ3日間）にわたり、朝のあいさつ運動を実施しました。「学校でのあいさつを活発にしていくために、まずは自分たちから行動していこう」という想いから、学年フロアやエントランスに朝の8時から立ち、活発にあいさつをする様子が見られ、朝から清々しい気持ちになりました。附属中生は普段から元気にあいさつしてくれる生徒ばかりですが、この期間は、いつも以上に校内に気持ちのよい、あいさつが響き渡っていました。

あいさつはコミュニケーションや人間関係の基本となる行為。ぜひ、これからもお互いに元気で気持ちのよいあいさつを心がけていきましょう。生活保健委員会の皆さん、朝早くからお疲れ様でした！！